「(仮称)旭川市工場立地法準則条例(素案)」に対して寄せられた御意見と旭川市の考え方

- ○募集期間:令和6年12月15日(日)から令和7年1月22日(水)
- 〇提出された意見等の件数~個人:2人(2件), 団体:0団体(O件)
- ※御意見につきましては、原則として原文のとおりとしておりますが、読みやすくするため、適宜、表記や送り仮名の修正等を行っています。

また、個人情報や個別の事案に関する表現については、削除しております。

N	あた 寄せられた 御意見	旭川市の考え方
1	「緑地」とは、芝生、樹木、花壇等で緑化した土地や建物屋上等が設けられている。「環境施設」・・・緑地の他、噴水、広場、運動場、太陽光パネル等が設けられている。「重複緑地」・・・屋上庭園、壁面緑化、緑化駐車場等が設けられている。道内では20自治体(芦別市、網走市、恵庭市、江別市、釧路市、千歳市、名寄市、函館市、北斗市、室蘭市、紋別市、滝川市、富良野市、深川市、東川町、音更町、白糠町、広尾町、芽室町、湧別町)が緑地面積等の緩和を行う準則条例を制定している。 (その他)旭川市内近郊とも工業団地を建設して欲しい。	・御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。
2	業種とは、製造業、電気・ガス・熱供給業(水力・地熱・太陽光発電所は除く)を示している。規模とは、敷地面積9,000㎡以上又は建築面積3,000㎡以上と定めている。更に特定工場の緑地面積の合計は約35haであり、市全体の面積の0.05%となるため、今回の条例制定による影響は極めて限定的なものとなる。 (その他)旭川市内近郊とも工業団地を建設して欲しい。富良野市内の工業団地を建設して欲しい。	・御意見の内容については、今後の取組検討の参考とさせていただきます。